

専門学校 E S P エンタテインメント東京

授業科目名	商品知識		授業形態 / 必・選	講義	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	30回 (60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
フルート・クラリネット・サクソ・トランペット・ホルン・トロンボーン・ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット・マーチングブラス・アクセサリーの楽器・製品解説。					
到達目標					
楽器の特徴・メカニズム・システムから、メーカーごとの特徴や売りなど、販売・修理知識の修得。					

授業計画・内容	
1～2回目	フルート概要・製品解説
3～4回目	クラリネット概要・製品解説
5～6回目	サクソ概要・製品解説
7～8回目	トランペット概要・製品解説
9～10回目	ホルン概要・製品解説
11～12回目	トロンボーン概要・製品解説
13回目	ユーフォニウム概要・製品解説
14回目	チューバ概要・製品解説
15回目	オーボエ概要・製品解説
16回目	ファゴット概要・製品解説
17回目	マーチングブラス概要・製品解説
18回目	アクセサリー製品解説
19回目	マウスピース概要・製品解説
20回目	リード概要・製品解説 リガチャー概要・製品解説
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	異なる楽器でもその特徴などは類似する点が多いので、常に関連付けて考えられるように取り組むこと。講義だけでは活きた情報にはならないので、自ら楽器店などでその製品の特長などを観察・試奏することも重要になる。
使用教科書	「管楽器価格一覧表」ミュージックトレード社、各メーカーカタログ

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	学販商品知識		授業形態 / 必・選	講義	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	8回 (16単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
各楽器の歴史・種類・名称・メカニズム・材質からメーカーの歴史・特徴・主要機種・定番機種などを学ぶ。					
到達目標					
学校販売で扱う教育楽器等のうち、管楽器以外の楽器についての販売知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1回目	リコーダー概要・製品解説 ハーモニカ概要・製品解説
【前期】 2回目	鍵盤ハーモニカ概要・製品解説 アコーディオン概要・製品解説
【前期】 3回目	和楽器概要・製品解説 電子楽器概要・製品解説
【前期】 4回目	バイオリン概要・製品解説
【前期】 5～6回目	ピアノ概要・製品解説
【前期】 7～8回目	ギター概要・製品解説
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	楽器店での販売営業、外販営業知識として学ぶが、単に知識としてだけでなく、顧客にとって最良の商品をいかに勧めるか、その選択肢を提示するかをイメージして取り組むこと。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	フルート修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	15~414回 (30~828単位時間)	年間単位数	1~27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
フルート修理の実践。					
到達目標					
フルート修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 and 【後期】 1~207回目 ※個人の選択によ って回数変動	作動調整
	タンポ調整
	連動調整
	管体修正・へこみ直し
	溶接 (ハンダ・銀ロウ)
	ピッコロ調整
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	クラリネット修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	15~414回 (30~828単位時間)	年間単位数	1~27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
クラリネット修理の実践。					
到達目標					
クラリネット修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 and 【後期】 1~207回目 ※個人の選択によ って回数変動	作動調整
	タンポ調整
	連動調整
	管体修正
	バスクラリネット調整
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	サクソフォン修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	15~414回 (30~828単位時間)	年間単位数	1~27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
サクソフォン修理の実践。					
到達目標					
サクソフォン修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 and 【後期】 1~207回目 ※個人の選択によ って回数変動	作動調整
	タンポ調整
	連動調整
	管体修正・へこみ直し
	溶接 (ハンダ・銀ロウ)
	ソプラノ・バリトン調整
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	トランペット修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	15~414回 (30~828単位時間)	年間単位数	1~27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
トランペット修理の実践。					
到達目標					
トランペット修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 and 【後期】 1~207回目 ※個人の選択によ って回数変動	管体清掃・磨き
	ピストン調整
	拔差管調整
	へこみ直し
	溶接 (ハンダ・銀ロウ)
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	トロンボーン修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	15~414回 (30~828単位時間)	年間単位数	1~27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
トロンボーン修理の実践。					
到達目標					
トロンボーン修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 and 【後期】 1~207回目 ※個人の選択によ って回数変動	管体清掃・磨き
	スライド調整
	ロータリー調整
	拔差管調整
	へこみ直し
	溶接 (ハンダ・銀ロウ)
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ホルン修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	15~414回 (30~828単位時間)	年間単位数	1~27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
ホルン修理の実践。					
到達目標					
ホルン修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 and 【後期】 1~207回目 ※個人の選択によ って回数変動	管体清掃・磨き
	ロータリー調整
	拔差管調整
	へこみ直し
	溶接 (ハンダ・銀ロウ)
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	特殊楽器修理		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	15~414回 (30~828単位時間)	年間単位数	1~27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット修理の実践。					
到達目標					
ユーフォニウム・チューバ・オーボエ・ファゴット修理の精度・速度の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 and 【後期】 1~207回目 ※個人の選択によ って回数変動	ユーフォニウム修理
	チューバ修理
	オーボエ修理
	ファゴット修理
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	基本を繰り返し作業するとともに、広範な技術を経験することで、実際の業務をイメージしてより正確に、早く作業を進めることをめざし、応用力を養うことが大切である。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	金属加工		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	15~414回 (30~828単位時間)	年間単位数	1~27単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験：15年 都内の楽器店に勤務後、修理工房を独立開業。現在に至る。				
授業概要					
ヤスリ、ノコなどの工具の扱いを学び、楽器修理工具の製作や、機械工具使用方法、パーツ製作を学ぶ。					
到達目標					
金属加工の方法論や、材質の特性などを理解、工具、パーツの製作技術の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 and 【後期】 1~207回目 ※個人の選択によ って回数変動	基礎金属加工：金属材料の加工
	ボール盤・旋盤・グラインダー加工
	楽器工具製作：タンポヘラ製作
	楽器工具製作：ペンチ加工
	楽器工具製作：その他調整工具製作
	楽器パーツ製作
	彫金基礎：指輪等の製作
備考	項目ごとに選択可能。作業内容により期間も調整する。
評価方法	課題ごと提出の仕上がり状況と修理過程を加味した技術点評価、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	完成形のイメージと作業計画をしっかりと持ち取り組むこと。そのためには、楽器の構造、パーツ、材質なども理解しておく必要がある。楽器のカスタマイズやパーツ製作に必要な知識にもなる。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択前期ウインドアンサンブルⅢ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	20回 (40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験 36年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～20回目	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上 (メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択前期木管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	20回 (40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験 20年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。				
授業概要					
木管楽器室内楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～20回目	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上 (メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択前期金管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	20回 (40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。				
授業概要					
金管楽器室内楽の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～20回目	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上 (メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択前期ビッグバンドアンサンブルⅢ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	20回 (40単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験 20年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。				
授業概要					
ビッグバンド楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～20回目	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上 (メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択後期ウインドアンサンブルⅢ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	22回 (44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験 36年 アンサンブルなどのメンバーとして活動のほか、大学や高校の講師としても活動。				
授業概要					
吹奏楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～22回目	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上 (メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択後期木管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	22回 (44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験 20年 ライブやコンサート出演のほか、劇伴、CM、ドラマ、アルバムレコーディング、コンサートサポートなどに参加。				
授業概要					
木管楽器室内楽の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～22回目	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上 (メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択後期金管室内楽Ⅲ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	22回 (44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験 22年 ライブサポート、レコーディング、パーティ、テーマパーク、学校公演などさまざまな現場で活動中。				
授業概要					
金管楽器室内楽の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～22回目	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上 (メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	選択後期ビッグバンドアンサンブルⅢ		授業形態 / 必・選	実習	選択
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	22回 (44単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	楽器技術研究科 管楽器リペア研究コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験 20年 学生時代より、ライブやTVでの仕事を始める。2006年メジャーデビュー。その後、アンサンブルやジャズ奏法のレッスンにも力を入れる。現在、トラック制作や、ナレーションの仕事にも携わっている。				
授業概要					
ビッグバンド楽曲の合奏。					
到達目標					
音色やリズムの作り方、音楽の組み立て方の研究、楽器の演奏技術向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～22回目	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器演奏基礎向上 (メロディー、ハーモニー、スケール) ・楽曲を決め、アンサンブルの練習 ・音程やリズムの練習 ・楽曲にあった音色の作り方の練習 ・演奏発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	1年、2年の合同授業。合奏が授業の中心になるため、協調性を持って取り組み、欠席しないように努力すること。決まった楽曲は合奏までに個人練習をすること。
使用教科書	ティップス、3D、別紙譜面を配布